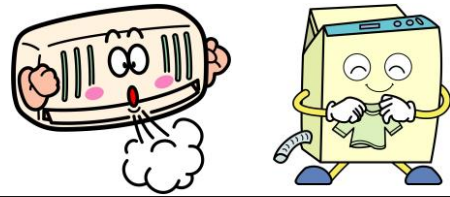


令和 2 年度夏期環境家計簿モニター モニターさんの声

この度は令和 2 年度夏期環境家計簿モニターにご参加いただき、ありがとうございました。今夏、関東地方では 7 月末まで梅雨が続き、一転 8 月からは連日の猛暑となり、新型コロナウイルス感染症への対策も含め、体調管理に苦労されたことと思います。その中で、皆さんが節電・節ガスに色々と工夫されたことが伺い知れ、頭の下がる思いです。今後も体調第一で省エネを実践していきましょう。ここでは、皆さんからいただいた省エネへの取組方法や反省点などをご紹介します。今後の参考として、ご一読ください。



《ハッピー》

エアコンの使用は除湿より冷房の方が節電できると聞いたので実践してみた。温水洗浄便座をオフにして、水温設定を低くしてみた。色々実践してみて、他の家庭ではどのような対策をしているのか知りたくなった。

《R&M》

今年は子どもの家族が遊びに来なかったもので、例年よりも電気の使用量が下がった。9 月に入ってから猛暑が続いた影響で風呂の温度設定を下げたことでガス使用量が減った原因になったかもしれない。

《ケベック》

新型コロナウイルスの影響で巣ごもり状態が続き、節電・節ガスが難しかった。

《あおば》

今年是在宅勤務の時間が増えた。7 月はエアコンの使用機会は少なかったが、8 月の猛暑で電気使用量が増加してしまった。

《沈黙の春》

今年世帯人数が 1 人増えたことと、天候不順で猛暑日によるエアコン使用量の増加などで電気・ガス共に使用量が増えた。

《タケちゃん》

毎年、暑い時期は図書館や公民館などで涼んでいたが、新型コロナウイルスの影響で外出できず、家でエアコンを使っていた。9 月に入ってから夜間は冷房なしでは眠れなかった。

《KAIYO》

8 月～9 月上旬まで猛暑が続いた上に、自粛生活の影響もあり、エアコンの使用が増え、それに付随して洗濯の回数も増えたため、電気・ガスだけでなく、水の使用量も増えた。

《ちえさん》

エアコンの使用温度は 28℃に設定し、昼間は窓を開け、扇風機を使用した。風呂の水位は低く設定して、暑さが厳しい日はシャワーに切り替えた。料理は電子レンジを併用し、ガスの使用を抑えた。

《あっきっき》

7 月～8 月の暑い日はブラインドやカーテンなどで直射日光の侵入を防いだ。9 月の残暑が厳しい日はエアコンのスイッチの入・切をこまめにせず、27～28℃の温度設定で連続運転にした。

《青りんご》

8月は自宅のエアコンをフル稼働して、暑さをしのぎ、お風呂の残り湯で水浴びをするなどしてガスの使用量を節約した。暑い時は雨戸やガラス戸、カーテンを閉めてからエアコンをつけた。

《すー》

緑のカーテンでオキナワスズメウリ、フウセンカズラやアサガオを植えたが、天候が良くなったせいか生育が遅く、8月まで活躍しなかった。頻りにシャワーを浴びたりしたのでガスの使用量が増えてしまった。

《SPOAN》

ご飯は圧力釜で炊き、鍋帽子をかぶせて保温した。鍋帽子は長い時間保温が保てて、電子レンジの使用回数を減らすことができた。またすだれを活用し、日差しを遮り、部屋の温度が上がらないようにした。

《ママ》

日差しが強いので、北と東の窓の内側から遮熱シートを貼った。南側ベランダの外側には日よけシートをぶら下げた。その効果で部屋にあまり熱がこもらなかった。

《こま》

暑い夜は氷枕を使用し、冷房を使わないように心がけた。9月に入ってから温度設定を28℃にし、スイッチのオンオフをしないようにした。

《おっちゃん》

8月以降も暑い日が続き、家族それぞれでエアコンを使っていたら、電気使用量が上がってしまった。

《まさ》

テレワークの影響で在宅時間が増え、電気・ガスの使用量が増えたかも。

《しじみちゃん》

7月はエアコンの使用はほとんどなく、お風呂の温度を1℃上げ、8月の猛暑からは24時間エアコンつけることが増え、風呂の温度を1℃下げた。

《キタマチ フジ》

今夏はコロナ禍の中、猛暑による熱中症への注意喚起もあり、冷房を使ってしまった。

《幹ちゃん》

10年振りにエアコンを省エネ型に買い替えたが、猛暑で十分な効果が得られなかった。

温度℃

7月～9月の1日の平均気温

気象庁府中観測所データ

